

ベスト フレンズ

箭山如水会福岡支部

支部長 大木 敦夫

事務局：〒813-0001
福岡市東区唐原3-9-28城戸崎宅
TEL 092-672-5764

編集責任者 城戸崎 重夫



軍師官兵衛放映中

■ 同窓会へのお誘い 支部長 大木 敦夫 (36年商業科卒)

新生中津東高等学校同窓会「箭山如水会」福岡支部が発足して4年目を迎えました。

発足に際しましては、いろいろと問題もありましたが、役員 노력もありですが、会員の交流が進みゴルフ会、旅行会等に出席者が増えて合併の効果が出てきております。今年も母校、中津東校の校長先生、同窓会本部の松永会長を始め多数のご来賓を招き第4回福岡支部総会は、5月17日(土)西鉄グラン

ドホテルで開催されます。卒業年次、課程にとらわれることなく、同じ学舎で学んだ者が世代を超えて集える楽しい総会にしたいと考えています。昨年1年間の開催行事は下記の通りです。今年も昨年以上に楽しい行事を開催したいと思っております。



卒業生の皆様、是非一度、総会、ゴルフ会、旅行会、お好きな行事に参加してみませんか、お待ちしております。



第3回 福岡支部の集い

平成25年5月18日 西鉄グランドホテルにて



箭山如水会福岡支部の平成25年度活動状況

年月日	行事名	場所	参加者など
25年7月12日	第2回福岡・北九州支部合同ゴルフ会	福岡国際CC	福岡支部より7名参加
5月18日	第3回箭山如水会福岡支部総会	西鉄グランドホテル	45名参加
10月26日	箭山如水会北九州支部総会	このみ倶楽部	福岡支部より6名参加
10月20~21日	天草一泊旅行	天草温泉・ホテル松竜園海星	16名参加
11月9日	箭山如水会本部総会(本部・支部合同会議)	グランプラザ中津ホテル	福岡支部より8名参加
11月28日	第3回福岡・北九州支部合同ゴルフ会	宗像ユーアイゴルフクラブ	福岡支部より8名参加
26年1月25日	沖代会・役員会新年会	天神テルラ「花万葉」	17名参加

箭山如水会福岡支部役員会

年月日	行事名	場所	参加者など
25年4月02日	総会準備打合せ	博多「魚がし」	15名参加
5月02日	総会打合せ	博多「窯山」	10名参加
6月19日	総会反省会及び旅行打合せ	博多「窯山」	12名参加
12月11日	忘年会・ベストフレンズ13号原稿依頼	博多「魚がし」	15名参加
26年1月25日	新年会・役員人選	天神テルラ「花万葉」	17名参加

第3回関東支部総会 賑やかに開催 関東支部 幹事長：花水 正平（32年商業科卒）

「ベストフレンズ」13号の発行を祝し、心よりお慶び申し上げます。
 当支部の第3回定期総会は、本部の松永勇治会長他役員と母校の高橋正直校長先生のご出席を賜り、平成25年9月8日(日)東京ガーデンパレスで総勢56名が出席して、賑やかに且つ楽しく開催しました。総会の議案は全て承認され、その中で役員改選があり、初代の今井正人会長が退任し、中田一郎(28年機械科卒)新会長に就任しました。又、商業科代表幹事に阿部豊彦(31年商業科卒)、機械科代表幹事に小野勝正(47年機械科卒)が就任しました。そして、ご来賓の松永会長並びに高橋校長先生よりご挨拶を頂き、本部と母校の現況報告があり、特に第91回全国高等学校サッカー選手権大会への応援に対し、お礼の言葉を頂きました。懇親会では、事務局次長の木村朋昭様とタウンマガジン社主の荻本光様よりご挨拶を頂き、松永会長より寄贈の故郷の銘柄「耶馬美人」を美味しく頂きました。イベントは、堂上太治さん(29年度土木科卒)による尺八演奏があり、年期の入った演奏が披露されました。恒例のカラオケ大会では元気な歌声が響き申し込みが多く時間を延長して、最後は、定評の歌唱力とムード抜群の恒行和美さん(36年機械科卒)の「ありがとう感謝」の熱唱で、最高に盛り上げました。尚、時間がオーバーし最後は、全員で声高らかに旧中

津東高校歌(西の峰々〜)を斉唱し、関東一本締めで手締めをして新年会での再会を契い、笑顔で散会しました。しかし、当支部は会員の高齢化と減少が進み課題もありますが、会員相互の親睦を図る為、第3回新年会を平成26年1月25日～26日熱海ニューフジヤホテル(1泊2日)で開催することになり、その最終準備に入っています。終わりになりますが、福岡支部の益々のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。



第3回中津東高校同窓会関東支部総会
平成25年9月8日 東京ガーデンパレス

関西支部便り

関西支部 支部長：小倉 利幸（37年商業科卒）

福岡支部の皆様、ご健勝でお過ごしのことと存じます。関西支部も恒例の総会懇親会を平成25年7月20日土曜日に第2回目としてご来賓三名(本部松永会長、松本副会長、母校教頭の半田先生)をお迎えし、同窓生53人の集いで晴れやかに開催することができました。懇親会では河内音頭の師匠川内様(34年商業卒)から威勢よく始まり、大阪老人会でご活躍の塩山和子様の歌謡ショーで情緒な雰囲気にもまれて、続いて舟木一夫の高校三年生を大合唱して一気に十代に若返りこれで勢いついて飛び入りカラオケ大会も満開状態、最後にビンゴゲームでラッキー、アンラッキーで賑やかに余興の幕を閉じました。それから今年も最高齢(83歳)の大江様(機械科)がお越し下されて姿勢もよくお元気なお姿で万歳三唱で会を締め上げて頂きました。この様なお姿は若い人に希望と勇気を与えてくれました。今年もお互いにしっかりと同窓の味を噛み合うことが出来、盛会裏に終えて各支部員は余韻の覚めないうちにそれぞれ家路につかれたことと存じます。又支部の部活動の歴史ウオーキングは昨年事情により中止、今年は希望者16名になり大いに期待しておりましたが台風24号によって当日朝またもや中止。雨にも負けずで連絡の取れない早出の方がおり、幹事は現地へ急行して四人の出会いになりました。幸いにして雨も上がり陽ざしも見えてきたので四人で決行、小人数のため意

気投合して予定とおり散策してお昼から酒を酌み交わし雑学で花を咲かせました。これで一応ウオーキングの実績もできましたので本年度は期待しています。一方ゴルフコンペも台風26号によって延期、参加人員も11名と少なくなりましたがプレーは熱く、楽しく終えて、人ととのふれあいに改めて感動している次第です。なお、関西支部も必要最低資金の維持確保と無駄な費用の削減で資金の有効活用を図る為に支部運営を会員制へ移行することになりました。最後に福岡支部の益々のご発展と皆様のご健勝とご活躍をお祈りしています。



平成25年度 箭山如水会関西支部総会 2013.7.20

協賛広告ありがとうございます

箭山如水会 福岡支部
 支部長 大木 敦夫 (36年商業科卒)
 福岡市城南区 電話：092-861-5053

「箭山如水会」に乾杯！
 中津東高同窓会関東支部
 幹事長 花水 正平 (32年商業科卒)

本部総会とサッカー一部募金の御礼

箭山如水会 会長 松永 勇治 (39年商業科卒)

「ベストフレンズ」13号の発行を祝し、心よりお慶び申し上げます。また、福岡支部の同窓会活動にいつも感謝致しています。さて、平成25年(第3回)「箭山如水会」本部総会・懇親会が11月9日(土)グランプラザ中津ホテルにおいて、恩師等ご来賓、支部役員及び本部会員を含め総勢280名が出席して盛大に開催することができました。これも各支部、皆様のおかげと心よりお礼を申し上げます。今年の総会は、本・支部の合同会議を12時より母校中津東高校で行いました。会議の前に高橋校長先生の計らいで、校内を見学して、生徒によるブラスバンド演奏のおもてなしを受け、出席者はとても感動しました。合同会議は、校長先生を含め昼食をしながら、学校、支部、本部の意見交換をしてとても有意義な時間を過ごしました。15時より通常総会で会務報告・決算等が承認され、16時より懇親会に入り黒田武士顕彰会の舞踊、末次恵子歌謡ショー、フラダンス等で会場はとても盛り上がりました。これも当番回生(工業系S45・46・47年卒、商業系S50年卒)の皆さんのお陰と感謝しています。ところで、



「第92回全国高校サッカー選手権大会」出場について全国各地の会員の皆様には、募金のご協力本当にありがとうございました。結果は、初戦総体で優勝した強豪の市立船橋高校と対戦して善戦空しく0-1で敗退致しましたがとてもよく頑張ったと思います。中津東高校になって5年になりますが、今回で3度目の全国大会出場になりました。旧商・工業の歴史と伝統を引き継ぎ生徒たちは頑張っています。今後も同窓会としてサッカー部他各クラブの応援・支援を行って行きたいと思っております。今後微力ではございますが、役員と本部運営の充実を図り、会員相互間の融和並びに各支部と連携をとり、母校の発展に協力していきたいと思っておりますので皆様

のご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、福岡支部のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りしてお礼と報告の挨拶とさせていただきます。

「第92回全国高校サッカー選手権大会」出場について全国各地の会員の皆様には、募金のご協力本当にありがとうございました。結果は、初戦総体で優勝した強豪の市立船橋高校と対戦して善戦空しく0-1で敗退致しましたがとてもよく頑張ったと思います。中津東高校になって5年になりますが、今回で3度目の全国大会出場になりました。旧商・工業の歴史と伝統を引き継ぎ生徒たちは頑張っています。今後も同窓会としてサッカー部他各クラブの応援・支援を行って行きたいと思っております。今後微力ではございますが、役員と本部運営の充実を図り、会員相互間の融和並びに各支部と連携をとり、母校の発展に協力していきたいと思っておりますので皆様



のご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、福岡支部のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りしてお礼と報告の挨拶とさせていただきます。

天草一泊旅行

中野 久米夫 (45年商業科卒)

紅葉の見頃が少し早い10月20日(日)~21日(月)箭山如水会福岡支部は総勢16名にて迎えのバスの運転手が携帯忘れ、ヒヤヒヤした出発前でしたが無事天草一泊旅行に出かけることが出来ました。今回の宿泊先である上天草市の大矢野温泉は、ぬめり感ある「美人湯」や、お肌がつるになる「白湯」と鉄分の多い「赤湯」が混ざったダブル温泉など、泉質も種類豊富。そのためか、幅広い年齢層から好評を得ている温泉であり期待した旅行でもあります。九州自動車道を南下し、いざ熊本へ。最初の見学先皆さんが旅行では欠かせない飲酒目的のザ・プレミアムモルツで有名な「サントリー熊本工場」へ窓口の女性が全員美人で皆さんが鼻の下をのばしながら工場見学と映写会を見た後、試飲して喉を潤いさせましたね。今日最初の日食した後、一路天草半島へ。初日の観光の五橋遊覧では「松島の多島海をのんびり巡る爽快なクルージング」楽し

みましたがお一人の方がバス酔いされ、参加できず残念でした。今日の観光をすべて終え、宿泊先である「ホテル 松竜園 海星」に入りまして、宴会まで時間がありましたが入浴される方、夕日を写真に収める方といたしましたがいかがでしたか。それから皆様が待ちに待った宴会スタート「海の幸」を食していると女将の挨拶を受け、ホテルより「タコのステーキ」皆さん美味しそうに食べられていましたね。カラオケタイムに入り、全員それぞれの自慢のお声を聴かせて頂きました。特に途中で仲居さんの踊りとカラオケが上手だったのには皆様びっくりされてましたね。思う存分飲み、また二次会では「政治：経済」での議論が始まり最後は疲れ果て就寝。2日目は男性は二日酔いを治すため、女性の方はなお一層美人になるために温泉の朝風呂に浸かりましたね。



ホテルを出発して二日目の観光 九州三十三観音二十一番札所での「ギターとお笑いの説法」で有名な和尚の「向陽寺」で二度目以上行かれた方は別にして皆さん感激されてましたね。この世で生かされているのは「先祖があるのと」「周りの皆さん」によって生かされている自分があるのを忘れずに又、あの世には「お金」「身につけていた貴金属」等をもっていけない。なぜ葬儀以降の儀式はあるのかを笑い交えて説法を聞きましたね。最後は皆さん、いろいろと買われましたが・・・

最後の観光地天草四郎で有名なメモリアルホールへ立ち寄り、「天草・島原の乱」自由平等を求めて戦い、南蛮文化とキリスト教伝来の様子を映像試写会で歴史の再認識しましたね。すべての観光を終え、福岡へ引き返す一泊2日の楽しい旅行でした。又、次年度の参加を期待してペンを置きます。



協賛広告ありがとうございます

祝！ベストフレンズ13号発刊

箭山如水会 会長 松永 勇治 (39年商業科卒)
中津市 電話：0979-32-0712

西日本工業大学 ソフトテニス部

監督 守口 澄良 (34年商業科卒)
築上郡吉富町 電話：0979-22-7204

北九州支部総会開く

箭山会北九州支部 支部長 成重 欽吾 (39年商業科卒)

箭山如水会福岡支部会員の皆様、ご健勝でお過ごしのことと思います。第13号「ベストフレンズ」の発行おめでとうございます。去る平成25年10月26日に第2回「箭山如水会北九州支部総会」テーマ「広げよう同窓の絆」で、このみクラブに於いて80名程度の参加者で開催しました。これも中津本部、福岡支部役員、及び会員の皆様のご協力に感謝致します。

懇親会の出し物は「小倉祇園太鼓」に始まりカラオケ、ビンゴゲームで盛り上がり会員皆様和気藹々の中、楽しく無事終える事が出来ました事に感謝申し上げます。今後の総会での悩みの種である新会員の集約ではないでしょうか？ それは福岡、北九州支部も同じで、若い会員が増えない事でしょう。

北九州では初めての試みであるが、40才以下で総会に初参加される会員は、会費を半額で集客し、総会の雰囲気慣れて頂き、参加しやすい態勢作りで集約をしようとの事で決まりました。会

員の皆様、新しい情報等が有りましたら是非お知らせ下さいませ様ご協力をお願い申し上げます。



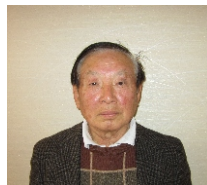
第3回福岡北九州合同ゴルフ会

前岡 正人 (30年機械科卒)

このゴルフ会は、合併前の箭山会の時から継続されている会を引継ぎ運用しており、現在の世話役は、会長 瀬口巖 (北九州)、世話人 荒川員允 (北九州)、杉本登 (北九州)、前岡正人 (福岡) の4人でを行っています。開催は春秋の年2回、春はゴルフのみ秋はゴルフと夜は懇親会の1泊ゴルフ会となっています。

現在の会員は、福岡支部 13人、北九州支部 17人の計30人となっています。さて、第3回のゴルフ会についてですが、平成25年11月28日、宗像大社から2キロほど神湊側に行った「宗像ユアアイ

は思えない寒い日となり不参加の方が出るのはないかと心配しましたが予定通りの全員参加。この日の参加者は平均年齢69歳とやや高齢ですがゴルフをする方は元気です。このゴルフ場は海に近く冷たい風が吹きプレイ中に雪が降り始め、一時はグリーンが白くなりグリーン上のボールが雪だるま状にくっつき一時はどうなることかと心配しましたがすぐ雪もやみプレイの続行が出来ました。またハーフ終了後の食事は名物の海鮮どんぶりなどで楽しめました。プレイ終了後は、近くにある「神湊スカイホテル」に移動し名物の新鮮な海鮮料理で宴会を行い親交を深めました。遅くまで話は尽きませんでしたがこれで福岡支部と北九州支部会員相互の中身の濃い親睦が十分出来たように感じています。参加人員も増加の傾向にあります。新会員の入会大歓迎です。ゴルフは高齢になってもプレイする方が沢山います。健康と元気をゴルフでキープしましょう。



ゴルフ倶楽部」で行いました。参加者は21人、6組となり盛会となりました。11月と

	第3回	第2回
年月日	H25.11.28	H25.7.12
ゴルフ場	宗像ユアアイGC	福岡国際CC
参加人員・組	21人、6組	17人、5組
優勝	友松規男 (福商35)	荒川員允 (北商33)
準優勝	下部豊範 (福電42)	瀬口 巖 (北商30)
三位	中島文生 (北治34)	中島文生 (北治34)

第3回 福岡・北九州合同Gコンペ参加

友松 規男 (35年商業科卒)

今回、はからずも2回目の参加にて優勝出来た事は、初雪の中でのプレーと共に忘れ得ぬ一日となりました。先ずはご一緒にさせて頂いた朝比奈様、小倉様を始め幹事の皆様に御礼申し上げます。特に朝比奈様にはスタート前、キャンディを頂戴しましたがこの時、幸運も一緒に頂いたものと感謝しています。これで又、ゴルフが止められなくなりました。現役を退いて、スコアにこだわらず、お酒を飲む時と同様、楽しんでや

る事をモットーに、これからも健康に留意し、和気あいあいのゴルフを心掛けて行こうと思っています。次回以後も万障繰合せの上、参加したいと思っております。お世話をして頂いた幹事様始め、諸先輩方々、今後共宜しく願います。最後に、箭山如水会の今後の発展と皆様様の御健康をお祈りしています。



協賛広告ありがとうございます

箭山如水会福岡支部ゴルフ会
顧問 久恒 喜成 (22年商業科卒)
福岡市百道浜 電話：092-831-2989

祝！ベストフレンズ13号発行
副支部長 小関 昭太郎 (33年商業科卒)
福岡市城南区 電話：092-861-0607

同窓会との出会い

箭山如水会 副会長 森山 良一郎 (49年工業科卒)



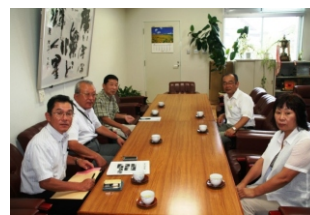
「ベストフレンズ」13号の発行を祝し、心よりお慶び申し上げます。また、福岡支部の積極的な同窓会活動の取組みに心中より敬意を表します。現在、箭山如水会本部の副会長で同窓会活動に携わり、早いもので7年が過ぎました。同窓会活動を始めた経緯や同窓会に対する思いを述べ、今回は寄稿とさせていただきます。ある



日、友人から恩師(現、木村事務局)より如水会役員に欠員が生じたので、役員を探しているという話があったと連絡が入りました。これまで同窓会総会に出席する程度で知識もなく役員会に出席し、急に副会長に任命され、大役を務まるのか大変戸

惑いました。副会長を引き受けた以上は、先ず同窓会役員を知ることが大事と思い役員会には必ず出席し先輩役員の皆様と融和を積極的に自分なりに図る努力をして参りました。役員会に出席することで、役員との信頼関係も深まり同窓会活動の目的も理解できはじめいつの間にか出席することが楽しくなりました。丁度、中津商業高校と中津工業高校が統合され、同窓会のあり方を検討中で箭山会と如水会の統合をはじめて知りました。当時の如水会の小倉会長や小野副会長をはじめ諸先輩から気持ちよく受入れられ、広報委員長などの役を任命されるまでになりました。両校同窓会の統合が進められ、如水会役員会と両同窓会の合同役員会が頻繁に開催され

ました。解決すべく同窓会の名称、規約、会計、役員人事等多くの山積した課題も多く激論を重ねました。生みの苦しみもありましたが、親しまれる同窓会と時代に相応しい活動内容の構築に寄与できたことは貴重な経験と嬉しく思いました。最初の箭山如水会総会是小野会長の下、本部役員と各支部役員が丸となって取組み、盛会裏に終了した時は安堵の気持ちで一杯になったことは、今でも良き思い出となっています。統合後の箭山如水会では、広報委員長として「同窓のつどい」編集から同窓会総会の議長等大役を任せられましたが、各支部役員のご指導を賜り任務を精一杯務めさせて頂きました。福岡支部、北九州支部の総会に出席させて頂き、多くの先輩と交流を深めることができ同窓会活動に益々のめり込んでいると感じています。毎年、本部総会前の本部役員と各支部三役との意見交換は、各支部活動を向うことができ、これからの同窓会活動に大変役に立ち楽しみです。箭山如水会には更に本部機能の充実を図り、会員や各支部との絆と連携を深め、松永会長を中心に同窓会を発展させて行くことが本部役員と各支部役員の大きな任務と考えております。同窓会の課題は本部、各支部の同窓会会員の高齢化が進んでおり、如何に若い会員を同窓会に関心を持って



もらい同窓会活動に参加して頂くことと思います。諸先輩のご指導ご鞭撻を賜り、微力ながら伝統ある箭山如水会の発展に努めさせていただきます。最後になりましたが、福岡支部の益々のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。今年も元気で頑張りましょう。

「熊本より」

森 正明 (45年土木科卒)

1.はじめに

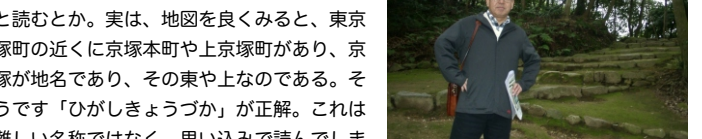
熊本といえば、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。阿蘇？、熊本城？、水前寺公園？この稿では、そんな有名な熊本ではなく、ローカルな熊本。それも、ローカルな地名を取り上げてみようと思います。

2.熊本駅昔

熊本は、福岡から高速道路で約1時間。2011年に開通した九州新幹線の最も早い便では約30分程。しかし、降りた駅は新幹線の駅にしては寂しい、田舎の駅である。その昔、夏目漱石が旧制五校へ赴任した際に降り立った駅は今の上熊本駅。駅から眺めた熊本は「自然豊かな町」だったとか。上熊本駅の現在の字は花園や池亀。熊本城の北西部にあり、城の近くにある京町や古京町というハイカラな名前に比べると、なんとも長閑。花園や池亀という地名は、古くは、そのまんまの感じだったのでしょ。現在の熊本駅は、その上熊本駅の南側。城からみると南西方向にある。ここの地名は春日。白川の氾濫原の縁ともいわれており、駅前には清正の治水事業として有名な堤がある。北側には藩主、細川家の墓所でもある北岡自然公園、明治維新の弾痕が残る北岡神社もある。そんな熊本駅の駅舎は2階建て。駅前から見ると、3～4階にも見えるが、実は張りぼて。駅構内から見ると板だけの3～4階である。駅周辺は寺や木造住宅が密集している。昔の博多駅がこうだったのだろうか、と思うような古めかしさである。博多駅は、現在の場所に移って50周年を迎えた。昨年12月1日のことだ。ということは開業は1963年(昭和38年)。私はまだ小学生で、遊びに夢中だった頃。したがって、私が着いた博多駅は、開業7年目の博多駅であったのだ。懐かしの井筒屋のあった、あの博多駅。昔の博多駅とは、その前に、祇園町にあった博多駅である(私は写真資料でしか知らない)。そんな熊本駅も、新幹線の開業に合わせた駅周辺再開発で、駅前のペDESTリアゲツキ、駅裏側の出入口と区画整理などですっかり様変わり。現在、在来線の高架化が進められており、鹿児島中央駅をモデルに改築構想も進んでいる。長閑な熊本駅も間もなく生まれかわります。

3.小峯、新外、西山、段山、そして、東京塚

上の文字は、熊本での私の生活圏にある字名。多分、皆さんが普通に読んでは間違い。当然、そのまま読んではいけません。小峯は「おみね」、新外は「しんほか」です。西山は「せいざん」、段山は「だにやま」と読みます。さて、東京塚は東京からの人に限らず、市外、県外からの方はたいてい「とつきょうつか」と読むとか。実は、地図を良くみると、東京塚町の近くに京塚本町や上京塚町があり、京塚が地名であり、その東や上なのである。そうです「ひがしきょうづか」が正解。これは難しい名称ではなく、思い込みで読んでしまうのでしょうか。因みに、私は、ちょうどバスで通ったために、間違いない読みました。京塚のあとに、東京塚があったからです。



4.熊本城関連

熊本城の周辺には、城下町特有の字名が残っている。まずは、古城町と千葉城町。この2つはいずれも城があった所で、千葉城はそのままの城が、古城は昔の熊本城があったと言われていた。熊本城築城前の室町時代のことである。これらの城は、加藤清正による熊本城築城の際に飲込まれてしまい、今は熊本城公園の北東部と南東部の地名として残っている。つまり、加藤清正の熊本城がそれほど広大であったのと、室町時代の城と城に住む豪族の勢力圏域が小さかったためといわれている。また、築城技術も、秀吉による朝鮮征伐により飛躍的に向上したのだ。朝鮮陶工により磁器の製法が広まったように、石積み技術が向上したため広大な城が可能となったのだ。今、千葉城町には県伝統工芸館があり、古城町は第一高等学校がある。第一高等学校は、戦前には女学校で、今でも男子生徒が少ないとか。

5.小天温泉

山道を登りながらこう考えた。智に働けば角が立つ、情に棹させば流される、意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。漱石が小天温泉に遊んだ時、熊本から金峰山の峠を越える時の様子を記したもので、草枕の冒頭の一節である。そこで問題、ではないが、小天温泉は何と読むでしょうか。正解は「おあま温泉」。金峰山の峠道には、漱石が腰を下した茶屋が復元され、峠の茶屋公園となっており、小天温泉には金峰森の駅があり、漱石の展示コーナーが設けられている。その時、漱石は小天の大家の世話になったが、今、漱石が泊った別棟の部屋や風呂場を見ることが出来る。しかし、地元では、漱石とはどんな石か、という人もいたとか。漱石は松山にも赴任して、いろんなエピソードを残している。われわれサラリーマンも転勤によりいろんな所で勤務する。転勤先でこんなエピソードを知れば、転勤生活もまた楽し、である。

協賛広告ありがとうございます

祝！ベストフレンズ13号発刊
中野 猛 (34年商業科卒)
福岡市東区奈多 電話：092-607-1119

(有)江副商店 畳・襖・障子張替
ごろ寝サポート 江副 節子 (34年商業科卒)
福岡市早良区原 電話：092-871-5253

頑張れ「ロータス君」

平成14年現役をリタイアして悠々自適の生活を、、などと夢見ながら日長遊ぶことばかり、人生チャージの時期だと嘯いていた。明日はもう会社に行かなくて良いと思ったら何と嬉しいことか、ついつい夜更かしてテレビとパソコンにへばり付いていた。これは体に良くない、何か生産性の有る事(大げさに言うと)世の為人の為になるような事をして、少しでも人生有意義に過ごさなくっちゃ、、とっていた矢先、ある先輩から日立グループの社会貢献団体「親切会」の九州支部事務局の仕事をしてくれないか、勿論ボランティアだけとの打診を受けた。思えば入社して東京から帰って来て、初めての上司となった先輩でもあり、断る理由も見当たらないので二つ返事で引き受けたのが今から8年前の平成18年2月のことである。「ロータス君」との出会いが出来たのはこの「親切会」が縁である。親切会とは、日立グループを中心とする福祉貢献団体の一つで、九州支部は地場正興電機製作所グループ企業ほか、法人・個人会員で構成されその会費や浄財などを活動基金とし、主として福祉団体や福祉施設等に寄付・寄贈し、また善行者表彰などを行っている。親切会事務局仕事も4年ほど経過した平成22年初夏の頃だったと思うが、西日本新聞紙上に「社会進出を助ける介助犬・・・」と言うような内容で、ユーザーの方とそのパートナーである介助犬ロータス君のことが紹介された記事を目にした。あれっ盲導犬とどう違うのかな?盲導犬はユーザーと一緒に街中を歩いている姿や、街頭で募金活動をしているのを目にすることがあるが、介助犬って言う犬のことは実は知らなくてこの時初めて目(耳)にしたことだ。

介助犬を育成する(NPO)九州補助犬協会は今から8年前の平成18年8月、現在の糸島市に設立された。副理事長櫻井昭生氏(介助犬訓練士)は、西日本新聞に次のように書かれている。介助犬とは手や足が不自由な人の体の一部となって支える犬のことです。九州では宮崎県と福岡市に1頭ずつの計2頭しかおらず、まだまだ普及していないのが現状です。(注:2頭とも櫻井氏が育成し、国指定の認定機関でユーザー(使用者)と共に審査を受けて合格した)その福岡市の介助犬がロータス君である。新聞記事に触発され、平成22年秋の親切会九州支部役員会で(NPO)九州補助犬協会への寄付承認を取り付けて、第1回の寄付を実施した。そ

栞田 義富 (37年商業科卒)



の折、西日本新聞絵手紙通信に「頑張れロータス君」と題した絵手紙を投稿、運良く掲載された。介助犬育成の大変さ、1頭育て上げる迄大変な時間とコストがかかることを知り、以来親切会九州支部として今日までロータス君に続く介助犬の誕生を心待ちしながら、ささやかながらも支援を継続させて頂いている。



○平成14年(2002)5月、「身体障害者補助犬法」成立
○補助犬=3種(介助犬、盲導犬、聴導犬)2010年時点で、盲導犬=1,000頭以上、介助犬=50頭程度。

介助犬とは、身体障害や介護の必要な高齢者の自立を助けるために特別に訓練された犬。ドアの開け閉め、電気の点灯・消灯から、車いすを引く、落ちた物を拾う、人を呼びに行く、電話の受話器をくわえて渡す、エレベータのボタンを押すなど、さまざまなことが出来る。パートナードッグ、ワーキングドッグ。出来ると言ってもトレーニングやパートナーとの共同訓練がいかに大変で何と難しいことでしょう。しかし、これを乗り越え認定された介助犬のお陰で、障がいの有る方々や高齢の方々の社会進出が一層可能となった。補助犬法が成立発効して初めて、電車・バス・飛行機やタクシーなどの公共のサービスが利用でき、飲食店やデパートなどにも法律の庇護のもとで同伴出来るようになった。

締めくくり介助犬アトムとの館林さんの体験談、そして介助犬ノーブル・レイク・ロータス・グレイスなどの訓練士櫻井さん、お二人の書かれた涙と感動の本を紹介して、お二人と介助犬、並びに育成に係わる皆様方に心からエールを送りたい。

- 「いとしの介助犬アトム」2002.10 初版 著者：館林千賀子
- 「ノーブルとの約束」介助犬を夢見た700日 2010.7 初版 著者：櫻井昭生

昭和30年機械科卒「喜寿」同期会を58年ぶりに開催 前岡 正人 (30年機械科卒)

昨年の8月17日(土)郷土中津の地で卒業以来58年ぶりに昭和30年機械科卒の同期会を開催しました。「喜寿」のお祝いも兼ねて計画しました。当時の中津東高校の昭和30年卒業生は、機械科2クラス81名、定時制機械科1クラス25名、採鉱冶金科1クラス46名、土木科1クラス45名、商業科4クラス189名の同期卒業生がおります。中津駅の近くにハモ料理で有名な「割烹 丸清」が会場です。この同期会を実施するに当たり中津の世話人と福岡の世話人が、ほぼ1年前から準備に取りかかり、調整のため、4回中津まで福岡から出向き会合・調整など行いました。当日は、参加者の顔を見てもなかなか思い出せない方がほとんどでした。81名のうち亡くなった方18名もあり、参加者は22名となりました。会の進行に当たり、亡くなった方の冥福を祈り黙祷の後、各自3分間のスピーチで卒業以来のことを話してもらいました。その後歓談となり時間の経つのも惜しいようなひと時でした。なお、会の内容をビデオ

に撮ったこと、後日大分合同新聞に掲載してもらったこと大きな思い出となりました。以下に掲載された新聞を添付します。



協賛広告ありがとうございます

箭山如水会 福岡支部
筆頭副支部長(工業系取り纏め)
前岡 正人 (30年機械科卒)
筑紫郡那珂川町 電話:092-408-7736

飲むならタクシー、飲んだらタクシー
個人タクシー 三好 一正 (48年商業科卒)
福岡市城南区长住 電話:090-8761-9322

平和台ものがたり...その1

今年のNHKの大河ドラマ「軍師官兵衛」は黒田官兵衛孝高のサクセスストーリーである。福岡城の初代城主黒田長政は、この官兵衛の嫡男である。このドラマは一月の放送以来高い視聴率を上げており、官兵衛所縁の地ではこのブームにあやかりたいと市町村をあげて観光客の取り込みに熱を上げている。かつてのプロ野球球団西鉄ライオンズはこの福岡城跡である平和台の一角にあつたが、同球場の改修工事に伴い、大和朝廷の迎賓館である「鴻臚館」の遺構が発見されたことにより一層クローズアップされている。そこで、ホットな夢とロマンに溢れた話題を次々に提供してくれる平和台にスポットをあて、平和台といわれる場所や施設にまつわる歴史及びエピソードをお届けします。今回は福岡城と黒田武士を紹介します。尚、次回は歩兵二十四連隊・平和台競技場・鴻臚館を掲載します。

[福岡城築城]

天下分け目の関ヶ原の一戦による功績で、筑前国守となった黒田長政は、慶長5年(1600年)12月名島城に入った。この城は天正15年豊臣秀吉が、小早川隆景に与えたときに新しく築かれたもので、強固な要害ではあつたが、筑前五十二万石を治めるにはあまりにも手狭で、城下の広がりには乏しかった。そこで黒田官兵衛孝高(隠居として如水と号す)長政父子は、築城を思い立ったのである。候補地については数か所検討したが、各々一長一短があつて結局地質も下が岩盤で前は海と地の利がよいことから那珂郡警固村の福崎の地に新しい城を築いた。慶長6年に工事を始め、筑前領内6カ所の端城とともに7年の歳月を経て完成した。城下町を福岡と名付けたのは長政の先祖が備前国邑久郡福岡の地にいたからである。城は、本丸、二の丸、三の丸、南の丸、北の丸等からなり、城地の総面積は約8万坪(東京ドーム球場がすっぽり五つ入る広さ)に及ぶ広大なものであつた。天守閣からは博多の街が一望できること、徳川に対する深謀遠慮から天守閣は初めから造られなかったし設計図も残っていない。それに代わるものとして、祈念櫓、月見櫓、潮見櫓、多聞櫓など大小合わせて47の櫓と10指に及ぶ諸門があり、攻守とともに十分な備えであつた。城の南北と東には堀を造って西には大濠公園で見られるような入り江を利用した大きな堀を結んで城の周りには那珂川の水がくまなく流れるようにした。石垣は今日でも石の粒が揃い積み重ねに隙がなくその威容を示し



中井 正明 (30年機械科卒)

ているが、400年を経た今日も石垣が崩れたことはない。この工事は、黒田二十五騎の一人として勇名をはせ、後には大阪城、江戸城の築城にも藩より参加した石積の功者野口佐助一成が普請奉行としてその任に当たった。長政は朝鮮の役折、難攻不落の城とされ日本軍が攻めあぐんだ挙句、関白秀吉の命で必ず落とせと言われやっと落城させた普州城を参考にしたと言われている。その規模の壮大さ、大砲の攻撃を予測した懐の深い造りなどを見て築城戦術家の加藤清正が俺の城は三日か四日で落ちるけど、福岡城は30日、40日は落ちないと賞賛を惜しまなかったと言われている。福岡城は現在の観光客の目にはおよそ美的感覚のない冴えない城かも知れないがまさに実戦を第一に考えた守りにも攻めにも強い実用の巨城だったのである。

[黒田武士]

福岡城の一角には「酒は飲め飲め飲むならば・・・」と黒田節に歌われた母里太兵衛友信(黒田二十五騎の一人)が住んでいた。このめっぽう酒に強い豪傑太兵衛が福島正則からのみとったという日本一の槍の一節はあまりにも有名な話であり文禄年間伏見城での出来事である。この槍日本号は国宝である漢委奴国王の金印と共に福岡市博物館に展示されている。室町時代の作と言われているが作者は不明である。穂先の長さが79センチもあり大身の槍と言われ総長約3メートル20センチもある。太兵衛にわたった経緯は正親町天皇から足利義昭に下賜され、織田信長から豊臣秀吉を経て福島正則の手に入ったと伝えられている。真珠光を放つ貝をはめ込んだ柄は見事なものである。黒田二十五騎の双壁と言え太兵衛と又兵衛がいる。朝鮮の役で加藤清正を感動させ勇名を天下に知られた豪傑である。後藤又兵衛は筑前大隈城の城主であつたが主君の長政と折が合わず筑前を出たのち、浪々の身となり大阪夏の陣で秀頼側につき伊達政宗の陣が放った銃弾に豪放な一期を閉じた。又兵衛の去った大隈城はその後、太兵衛が入っている。



協賛広告ありがとうございます

祝！ベストフレンズ13号発刊
大坪 義春 (26年機械科卒)
佐賀市今宿 電話：095-225-0570

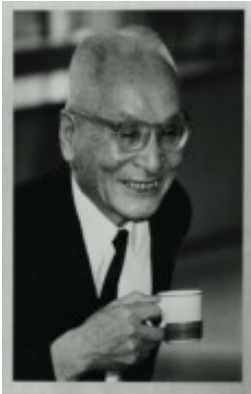
祝！ベストフレンズ13号発刊
苅北 正弘 (27年商業科卒)
福岡市中央区笹丘 電話：092-711-8080

九州の偉人 出光佐三

梶屋 孝太郎 (26年商業科卒)



昭和二十八年、神戸港から一隻のタンカーがペルシャ湾を目指して出港した。表向き目的地はサウジアラビアだが、本当の行き先はペルシャ湾内で最も奥にあるイランのアバダンであった。この秘密を知っているのは船長と機関長の二人だけである。二年前、イラン政府は、それまで国際石油資本(メジャー)に支配されていた石油を国有化すると宣言した。これに対し、権益を持っていたイギリス資本のアングロ・イラニアン社は、



「石油は我々のものだ、誰も手をつけることはできない」と猛反発し、イギリス政府や他のメジャーも巻き込んだ国際問題となった。英国海軍はペルシャ湾を航行するタンカーの無線を傍受し、イランから石油を積み出そうとする船があれば拿捕も辞さない構えを見せた。またメジャー主導で西側諸国はイラン原油の禁輸措置を取り、イラン政府は経済的に窮地に立たされていた。世界の石油販売業はメジャーにおびえて手も足も出ない状況の中、このタンカーはイランから石油を購入することを目的としていた。船の名前は日章丸二世、出光佐三率いる出光興産所有の船である。店主の出光佐三は、明治十八年に福岡県に生まれた。

神戸商高(現在の神戸大学)を卒業した後、会社員ではなく店員三名の商店へ丁稚として入店した。学友は彼を「おまえは学校の面汚し、きちがいだ。」と罵倒したが、佐三には大学時代に薫陶を受けた恩師の教えがしみこんでいた。その一人である学長の水島鏡也からは「黄金の奴隷になるな、土魂秀才をもって事業を営め」と教えられており、将来独立を考えていた佐三は、「仕事の基礎を一から覚え、人間の基本からやり直したい」と考えたのである。明治四十四年、藍問屋を営んでいた実家の家業が傾き、家族を引き留めるために独立を決意した。この時資金的に援助してくれたのが日田重太郎である。重太郎は徳島の資産家である。この時、六千円の資金を「貸すのではなく、もらってくれ。」と申し出たという。そして、従業員を家族と思え、自分の主義主張を最後まで貫き、自分が資金を出したことを人に言うなという三つの条件を約束させた。実家に近い北九州で機械油を販売する出光商会を立ち上げた佐三であるが、当初は全くうまくいかなかった。そこで目をつけたのが漁船の燃料である。それまで漁船は灯油を使用していたが、佐三は軽油を販売した。

自ら船の上でも正確に測定できる計器を開発し、海上で販売する手法が功を奏し、徐々に業績を伸ばした。この数年後には、販路を大陸に向け、満州でも経営を広げる。出光の潤滑油は、極寒の満州にあっても凍ることなく粘度を保ったため、南満州鉄道に採用されるなど海外で着実に業績を伸ばした。しかし、大東亜戦争敗戦により出光商会も海外資産のほぼ全てを失う。残ったのは巨額の借金と従業員である。誰もが絶望的現実を目の当たりにした中で、敗戦の二日後、佐三は従業員を前にして「玉音を拝して」という訓辞を行った。「私はこの際、店員諸君に三つの事を申し上げる。愚痴を止めよ、世界無比の三千年の歴史を見直せ、そして今から建設にかかれ」…愚痴は泣き声であり、亡国の声である、そして今こそ日本の歴史を見直し、その国民性を信じて誇りを持って国土の再建にかけ、日本の真の底力を全世界に示す好機が訪れた…と。戦後不況のあおりを受け、多くの企業が人員整理を行う中、出光幹部もリストラの必要性を訴えた。しかし佐三は「諸君は店員を何だと思っているのか、店員と会社は一つだ。家計が苦しいからと言って家族を追い出すようなことができるか。事業は失い、借金は残ったが、会社を支えるのは人だ。これが唯一の資本である、今後の事業を作る。人を大切にせずして何を大切にしようというのか」と語り、一人もリストラをしないことを社員に約束した。ここに、水島鏡也学長や日田重太郎の教えを踏まえた、出光佐三の「人間尊重の精神」が現れている。また、出征から復員した社員にも、「仕事はあるから安心して出社して欲しい」と、復員船の帰港地まで出光ののぼりをもって迎えに行ったという話もある。この後出光商会は、仕事になることなら、本業以外にも耕作・漁業・印刷業やラジオ修理まで何でも手がけた。昭和二十七年、GHQの占領下から主権回復した我国ではあるが、敗戦による人々の劣等感・屈辱感は完全に払拭できていなかった。そんな状況の中、「出光興産所有の日章丸二世号、アバダンに入港」の外電が入った。連合国の一翼を担った英国海軍が待ち構える中、石油を満載したタンカーは一ヵ月後に無事日本に帰国した。敗戦と占領でうちひしがれた日本人の心を奮い立たせたこの出来事は、「日章丸事件」として語られ「日本の底力」を世界に示す事ができたのである。

(昨年、本屋大賞受賞の「海賊と呼ばれた男」のモデルとなった)

【訃報】 ご両名のご生前のご功労に心からご冥福をお祈り申し上げます。

- ・福岡支部顧問として積極的に行事には参加され、趣味は魚釣りによく当誌に寄稿されていました。支部の発展に長年ご尽力頂いた井上慎一様が平成25年5月13日享年77歳で永眠されました。
- ・前身の箭山会支部長で現在の会運営のベースを創られ、ゴルフ会等にご活躍されていた吉井陽二様が平成26年1月14日享年78歳で永眠されました。



井上 慎一様



吉井 陽二様

編集後記

城戸崎 重夫
(40年商業科卒)



ベストフレンズNo13号をお届けします。

皆様方のご協力によりベストフレンズNo 13号を発行することができました。寄稿頂いた会員の皆様及び役員各位の賛助広告には厚くお礼申し上げます。

ベストフレンズは箭山如水会員同士の活動情報誌として、大きな役割を果たしています。これからもベストフレンズが箭山如水会の情報発信元となり、更に充実した機関紙として数多くの会員の皆様にご拝読頂ける様、取り組んで参ります。

協賛広告ありがとうございます

日本食品(株) あらびき大将
相談役 梶屋 孝太郎 (26年商業科卒)
古賀市青柳 電話: 092-942-6100

経営のパートナー 税務・経理支援
代表 城戸崎 重夫 (40年商業科卒)
福岡市東区唐原 電話: 090-4581-7676